

## 未来創造「新・ものづくり」特区 [指定：平成23年12月、認定：平成24年11月]

## I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.0+4.0) \div 2 = 4.0$ 

4.0

## i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	産地力の強化	229%	5
2	企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大	110%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) \div 2 = 4.0$ 

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標2は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

## ■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

## ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

## II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.0+3.0+4.3) \div 3 = 3.4$ 

3.4

## i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

## ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

## iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

・企業の農業参入が進み、農畜産物販売金額も目標をほぼ達成しており、高く評価することができる。  
今後の計画実現に期待したい。

・企業の新規立地件数は、進捗度が70%に留まっているのに対し、新規立地した事業所の売上高は、目標を大きく上回り、新規雇用数は概ね半分の進捗率である。これら3つの指標の進捗率にズレが発生していることに対し、分析が必要であろう。

・企業の新規立地については、なぜ雇用効果がこれほど小さいのか。人手不足を不振の原因として掲げているが、目標値が現実を踏まえたものであったか、今一度検討してみる必要がある。

・農業に参入した企業と直接関連する評価項目は耕作放棄地の農地への復旧面積の増加だけだが、農畜産物販売金額とのリンケージも拾うことができるようにしてほしい。参入した企業の状況をいくつか紹介するなど定性的なかたちでの評価でよいと考える。また、農業に参入した企業が周囲の農家を巻き込んで新しい事業を行っている可能性も考えられるので、そのあたりの情報を丁寧に集めて、企業の農業参入の意義をもっとアピールできるような評価にしていればと思う。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(4.0 + 3.4 + 3.5 \times 2) / 4 = 3.6$

3.6

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。